

問1 幕末に流行した「ええじゃないか」という民衆運動は、天から何が降ってきたという噂をきっかけに始まりましたか？

1. 御守 2. 神札 3. 絵馬 4. おみくじ

問2 産業革命によって発明され、黒船の動力として用いられた技術を何という？

1. 蒸気機関 2. 水力機関 3. 風力機関 4. 電力機関

問3 坂本龍馬が長崎で組織した、日本初の商社といわれる組織を何という？

1. 海援隊 2. 奇兵隊 3. 新選組 4. 龜山社中

問4 1858年、江戸幕府の大老としてアメリカと日米修好通商条約を結んだ人物は誰？

1. 阿部正弘 2. 松平慶永 3. 井伊直弼 4. 徳川慶喜

問5 幕末の政治思想で、天皇を敬い大切にするという考えを何という？

1. 尊王 2. 公武合体 3. 開国 4. 佐幕

問6 幕末の貿易開始後、輸出品が大量に外へ出たことや通貨の価値が不安定になったことで、国内の品物が不足し、物価が急騰した現象を何という？

1. 買いだめ 2. 輸出過多 3. 品不足 4. 大量生産

問7 金貨流出を防ぐため、幕府が金の含有量を減らして鑄造した通貨を何という？

1. 豆板銀 2. 丁銀 3. 一分銀 4. 小判

問8 1861年に始まったアメリカ南北戦争の最中に、奴隷解放宣言を行い、国家の統一を訴えた大統領は誰？

1. ワシントン 2. リンカーン 3. ジェファークソン 4. グラント

問9 1864年に長州藩による外国船砲撃への報復として、イギリス・フランス・アメリカ・オランダが下関を攻撃するために編成した艦隊を何という？

1. 連合艦隊 2. 四国艦隊 3. 北洋艦隊 4. 黒船艦隊

問10 幕末の貿易において、国内外での銀に対する金の価格差を利用して、金が海外へ大量に流出した原因となった要素を何という？

1. 金銀交換比率 2. 金銀複本位制 3. 金本位制 4. 管理通貨制度

問11 長州藩が外国艦隊の報復攻撃を受けたり、薩摩藩がイギリスとの衝突を経験したりする中で、尊王攘夷から方針を転換するきっかけとなった、長州藩を攻撃した連合艦隊を何という？

1. 地中海艦隊 2. ペリー艦隊 3. 東洋艦隊 4. 四国連合艦隊

問12 開国直後、当時の日本の貨幣制度の仕組みを悪用され、海外へ大量に流出したものは何という？

1. 紙幣 2. 銀貨 3. 金貨 4. 銅銭

問13 黒船の来航を目にした当時の日本人が抱いた、計り知れない驚きや精神的揺らぎを何という？

1. 衝撃 2. 動揺 3. 混乱 4. 困惑

問14 1858年に日本が結んだ日米修好通商条約において、日本が認めてしまった、外国人が日本で罪を犯しても日本の法律で裁くことができない権利を何という？

1. 片務的最恵国待遇 2. 関税自主権の欠如 3. 居留地権 4. 領事裁判権

答え合わせ・解説

問1	答え 2 神札	「ええじゃないか」は、天から神札（伊勢神宮などの護符）が降ってきたという噂が各地に広がり、民衆がそれをきっかけに歌い踊りながら練り歩いた民衆運動です。当時の支配体制に対する不満や、今の世の中が大きく変わることに期待が背景にありました。
問2	答え 1 蒸気機関	蒸気機関は、水を沸騰させて発生する蒸気の力で機械を動かす技術です。この技術を船舶に応用したものが蒸気船であり、風の力に頼らずに航行できるため、当時の軍事力や輸送力の象徴となりました。ペリーが使用した黒船も、この蒸気機関による強力な推進力を備えていました。
問3	答え 4 亀山社中	坂本龍馬が土佐藩などを脱藩した志士たちと共に、長崎で設立したのが亀山社中です。単なる商社ではなく、薩長同盟を裏から支えるような兵器の購入や運搬、さらには海運業を担う組織として活動しました。これが、後の海援隊へと発展していくことになります。
問4	答え 3 井伊直弼	井伊直弼は幕府の老老として、朝廷の許可（勅許）を得ないままアメリカと日米修好通商条約を結び、横浜などを開港しました。これによって自由貿易が開始されましたが、反発を強めた攘夷派を安政の大獄で厳しく弾圧したため、恨みを買うこととなりました。
問5	答え 1 尊王	尊王思想は、天皇をあがめるという考え方です。これに「外国勢力を排除せよ」という攘夷思想が結びつき、「尊王攘夷」という強力な運動が生まれました。幕府の統治に疑問を持つ志士たちの精神的な支柱となりました。
問6	答え 3 品不足	輸出の増加により国内の在庫が減り、供給が不足しました。さらに、金貨の流出や幕府による貨幣改鑄が重なり、お金の価値が下がって物価が異常なほど高騰しました。庶民にとって不可欠な米の価格も上がり、生活は困窮を極めました。
問7	答え 4 小判	幕府は金の含有量を減らした新たな小判を鑄造し、流通量を増やすことで対応を試みました。しかし、通貨の質が落ちたことは世間に周知され、貨幣に対する信用が低下して経済的混乱を助長しました。
問8	答え 2 リンカーン	リンカーンは奴隷制の拡大に反対する立場から大統領に選ばれました。1861年に南北戦争が始まると、彼は1863年に奴隷解放宣言を出し、戦いの目的を単なる国家統一から人道的な奴隷解放へと広げ、戦局を有利に導きました。
問9	答え 2 四国艦隊	1864年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの四カ国は艦隊を編成し、下関を砲撃しました。この「四国艦隊下関砲撃事件」により、長州藩の砲台は破壊され、多額の賠償金も課せられることになりました。
問10	答え 1 金銀交換比率	当時の日本は「金：銀＝1：5」程度でしたが、欧米では「1：15」程度でした。そのため、外国商人は日本へ銀を持ち込み、割安な比率で金と交換して持ち出すことで莫大な利益を得ました。この結果、日本の金が急速に海外へ流出し、幕府の財政は悪化しました。
問11	答え 4 四国連合艦隊	1864年、イギリス・フランス・アメリカ・オランダの4カ国が連合艦隊を結成し、長州藩の下関の砲台を激しく攻撃しました。圧倒的な軍事力の差を目の当たりにした長州藩は、攘夷の実行が現実的ではないことを悟りました。
問12	答え 3 金貨	当時の日本は金銀比価が金安だったため、外国人商人が銀を持ち込んで日本の金貨と交換し、それを海外で金と交換して大きな利益を得る「金銀交換比率の差を利用した投機」が横行しました。これにより、国内の金貨が急速に海外へ流出しました。
問13	答え 1 衝撃	「黒船」は単なる船ではなく、当時の日本の軍事力の限界を突きつける近代兵器の塊でした。幕府の役人や市井の人々は、かつてない強大な力に圧倒され、国家の存続を脅かす事態に強い精神的な揺らぎを覚えました。当時の狂歌に詠まれるほど、この出来事は人々の記憶に強く刻まれました。
問14	答え 4 領事裁判権	日米修好通商条約は、日本にとって「領事裁判権」を認めず、「関税自主権」もないという、主権を侵害された極めて不平等な内容でした。領事裁判権とは、日本にいる外国人が罪を犯しても、日本が日本の法律で裁くことができず、その外国人の国の領事が自国の法律で裁く権利のことです。